



一般質問

3月定例会



3月4日～6日の3日間にわたり、14名の議員から市政に対する一般質問が行われました。(掲載は次ページからになります。掲載の順番は質問順です。)
掲載内容は、一般質問および答弁内容の一部を抜粋し、各議員が作成した原稿を基に編集委員会において確認し編集しております。
なお、議長につきましては申し合わせにより、任期中は一般質問は行わないこととしております。

特定空家等の現地視察を実施

4月24日に、産業民生常任委員会の主催で、特定空家等の現地視察および担当課との意見交換会を実施した。
飯山市内には「特定空家等」に該当する危険な空き家等が19件あり、そのうち10件について現地視察を行った。

特定空家等の現状

住宅以外の空き家も多くあり、ある場所では屋根のトタンがはがれ、大きな音を立てていた。隣家との距離が近く、除雪作業も含めて安全面に不安を感じる箇所であった。

きのこ工場だった空き家では、黄色のウレタンがむき出しになり、建物の一部がネットで覆われていた。飛散防止のため市が緊急安全措置を行ったことである。

また、特に雪が多い地域にある空き家では、今年の大雪の影響で家屋の崩壊が進行し、玄関から奥までが見通せるほどとなっていた。熊などの野生動物が住み着くおそれもある。

り、非常に危険な状態である。

担当課との意見交換

視察後は担当課との意見交換会を実施した。空き家問題の背景には、相続放棄や生活困窮などにより所有者が解体に至れないケースが多く、担当課が対応に苦慮している現状が明らかになった。

今後空家等の増加が見込まれる中、特定空家等とならないよう予防的な取り組みがより重要になると認識している。現地の状況を直接確認したこ



現地視察の様子

とで、特定空家等の深刻さ、市の対応、そして全国的にも共通する課題であることを再確認した。今後、国に対しても制度的支援や対応の強化を要望していく必要があると感じた。

- ◆特定空家等の定義(次の①～④のいずれかに該当する場合)
 - ① そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態
 - ② 著しく衛生上有害となるおそれのある状態
 - ③ 適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態
 - ④ その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態
- ◆特定空家等の判定については、特定空家等判定委員会が空家の状態を審査したうえで認定し、空家等対策協議会へ報告・承認となる。

洪水時の指定避難所 難所・駅前ホテル・期成同盟会



吉越利明議員

問 洪水時の指定避難所には、浸水区域内人口の25%しか避難ができず、多くの人が押し寄せた場合混乱を招く恐れがある。収容可能人数を市民に周知し、市が言う親戚・友人宅などへの避難者数を把握する必要があると考えるが。

答 要支援者については市で把握している。

問 駅前ホテル問題は訴訟に発展した。飯山市の信用失墜及び信用損失の原因は市長の独断で進める政治手法にあると考える。また、駅前ホテル住民説明会が行われた際にも市民から、市長の独断で決めたとの声もあった。政治手法を改めるべきと考えるが。

答 私は独断で進めているとは考えていない。首長は行政機関の長であり政府の合議制とは違い、判断を多数決で決めるものではない。首長の性質をご理解いただきたい。

問 市内には多くの期成同盟会が組織されている。チラシなどで、活動を市民に知ってもらう事も重要と考えるが。

答 各同盟会会員の皆様のご意見を伺いながら取り組みたい。

駅前ホテル訴訟 子供の給食 農林業の将来



松本淳一議員

問 ホテル裁判にどう臨むか。ホテル側の請求を棄却するよう裁判で求めていく。

答 7年度ホテル建設補助予算はどのようになっているか。

答 予算化はしていないが、必要となれば検討する。

問 ホテル計画白紙化は可能か。一般論という意味では、初めからやり直すことはできないことではないと考える。

答 給食費の無償化を進めているが、新年度はどうなるか。

問 公立保育園の3歳以上児には市が白米等の主食を提供し、幼稚園と私立保育園の3歳以上児の主食を市が補助する。小中学校では給食費の7割を補助する。

答 これからの農業についてどう考えているか。

答 農林畜産業の有識者会議を開き課題の深堀りをする。農業委員会や、市民の知恵もいただきたい。

問 林地の境界確定の現状、人材育成について聞きたい。

答 最新技術で境界確定は加速度的に進んでいる。市の森林事業推進が雇用拡大や人材育成につながるかと考えている。

保育園米飯給食 農業米問題・帯 状疱疹ワクチン



荻原章一議員

問 来年度本格実施となる保育園米飯給食の意義について。

答 美味しさは五感すべてで感じるもの。ご飯が炊ける香りが園内に広がる。保護者の負担軽減だけでなく、地元の美味しいお米で炊いた温かいご飯の提供は、子どもの食育につながる。

問 米騒動は失政の結果。今日の国の農業・食料政策の下で、当地域の米作りの展望をどのように考えているか。

答 農林畜産業ビジョン策定会議(仮称)を立ち上げ、当市の現状と課題整理・解決の体制構築と具体策の策定を行う。米は優れた作物。米作りは大事な尊い仕事と改めて認識した。

問 この4月から定期接種となる带状疱疹ワクチンについて、自己負担額や負担割合はどうなるか。低所得者への独自の支援が必要ではないか。

答 ワクチン接種費用の3割が個人負担、市が4割、国が3割の負担となる。組み換えワクチンの場合、個人負担額は6400円の2回分となる。今後の接種状況や他自治体の動向などを注視していきたい。

駅前ホテル市民 説明会ゼロカー ボンについて



高橋達幸議員

問 飯山駅前ホテル住民説明会において市長は、「飯山市風景ガイドラインの中で『中層階以上を設ける場合は壁面を後退させる』という表現は、ミスプリントと判断するしか仕方ない」と述べている。それは景観計画等の策定委員である、東京工業大学・信州大学の有識者である各教授や、飯山市を代表する16の各組織・団体の代表者、現副市長を含めた3名の委員の皆さん、事務局として携わった職員9名の計30人を軽視した、大変失礼な言い方だと思つた。

答 全く失礼とか失礼でないとかの問題でなく、法律それから条例・計画に基づいて判断している。失礼という思いは全くない。何を言っているのか分からない。

問 トピアホールへの太陽光発電設置は、ハザードマップでの危険区域に該当するため補助金が出ないことから中止になったが、災害避難時における発電機による電源確保ができるよう検討していただきたい。

答 どのような規模の発電機を購入するかは、現在検討中。

蓮遊水地の整備 について



茨川芳三議員

問 蓮遊水地整備事業への市の基本的な考え方は。

答 蓮遊水地の整備が円滑に、地域にとってもプラスに働くような取り組みをしていく。

問 令和7年度にはどのような事業が行われる予定か。

答 国では昨年11月から用地取得に着手した。用地の確保ができれば排水樋門から工事に着手すると聞いている。

問 住民が耕作を行うための条件整備についてはどの様な課題が生じるか。

答 主な課題としては土地改良施設の整備、また土地の占用に伴う占用料がある。市では占用料を減免するように県に要望している。

問 現在の古牧橋の上流側のかさ上げを関係機関に働きかけて欲しいがどうか。

答 できる限り早い時期に課題の解消に取り組んでもらえるように、引き続き国・県に働きかけたい。

問 今後、今まで以上に住民に寄り添って事業を進めてほしい。

答 今後とも地域の意向を丁寧

に聞きながら事業を進める。

37 市議会だより/25.5

学校教育の保護者負担・パブリックコメント



高澤富士子議員

問 学校給食の無償化を段階的に進めているが不登校等の児童生徒のいる家庭への経済的支援はどのようになっているか。

答 給食費の支援のため、給食費負担のない家庭への支援は行われていない。

問 国も給食費無償化はすべての家庭へ届く制度にすべきとの考えだが、市独自に行う制度設計において、その点をどう検討されたか市長に問う。

答 全てを把握するまで待つのではなく手の打てるところから始めたいと考えている。

問 義務教育の授業で使う教材としてクロスカントリースキーの保護者負担は大きいと思うが今後検討の余地は。

答 保護者からもそういった意見があることは承知している。関係者とも協議し検討していきたい。

問 パブリックコメントへの市民からの意見が少ないように思う。デジタルを活用し、もっと意見を出しやすい仕組みづくりを考えてはどうか。

答 パブリックコメントの実施の周知を図るとともに、方法について前向きに検討したい。

高齢者・子育て支援、ゼロカーボンの推進



高田徳子議員

問 スマホやパソコンなどを使えない情報弱者への対応は。

答 さまざまなデジタル技術を誰もが利用できるような総力を挙げて取り組んでいきたい。

問 経済的に厳しい高齢者にデジタル支援をする方法は。

答 ニーズを含め具体的な支援制度の実施について、関係部署と研究の必要がある。

問 冬期間の高齢者住宅について、今後の取り組みは。

答 入居者の感想や要望、コスト面も含め評価を行い、来年度以降の施策に反映させたい。

問 森林環境譲与税を活用し子どもたちに木のおもちゃのプレゼントをしてはどうか。

答 木のおもちゃに触れ木製品に興味を持ってもらう機会となりうるので木材事業者などと相談しながら研究したい。

問 ゼロカーボン推進の取り組みとして庁舎の電気消費削減のため、水曜日をノー残業デーとし、公共交通機関を利用する取り組みをしてはどうか。

答 職員の働き方の見直しとゼロカーボン推進という観点から、ノー残業デーについて実施の方向で検討をしている。

危機管理・産業振興・農業支援 農林高校の存続



村松正勝議員

問 避難行動調査と指定避難所設置の在り方について。

答 各区の避難行動の調査は他市町村の事例等を研究する。避難所駐車場で車中泊も想定している。戸狩観光協会と、民宿を福祉避難所等で活用できるか協議中。

問 ふるさと納税増額対策は。

答 返礼品の開発を事業者に委託した。品目を増やし、返礼品提供事業者負担軽減のためのシステムを導入予定。企業版ふるさと納税は営業に力を入れる。

問 農業研修センターで経営ノウハウを学んではどうか。

答 経営ノウハウを学ぶ講座の導入は、飯山市農業研修センター関係者や新規就農者等の意見をお聞きし検討したい。

問 下高井農林高校の存続に向けて今後の取り組みは。

答 農林高校、飯山高校の両校長と岳北4市村の教育長との懇談の場を設けた。

問 市民対象の教育全般の懇談会の実施は検討されたか。

答 4市村の教育長の懇談の場で、岳北地域の教育全般について、懇談会をどのようにするか話題にしていきたい。

教育問題・带状疱疹ワクチンについて



西澤一彦議員

問 生きる力を与えてくれる先生に出会えたら生徒はどんなに幸せか、という声があった。全国のいじめ、不登校は過去最高を記録。教育長の考えをお聞きする。

答 教師が生徒と向き合い、その子のよさを見とり、心に響く指導等を行うことにより信頼関係が構築され、力を伸ばすことにつながっていくと考える。

問 吉田松陰は子供たちの長所を見抜き励まし続け、多くの優れた人材を輩出し、今も萩の誇りとなっている。そして飯山には丸山邦雄がいる。満州から100万人を超える同胞を日本に帰国させた空前絶後の功績を持つ丸山邦雄について、もっと学習すべきと考えるが。

答 丸山邦夫を知り、郷土の偉人として誇りがもてるようにしていきたい。教職員にも再認識の機会を設けるよう検討する。

問 国による带状疱疹ワクチンの定期接種が始まり、県内22市町村で50歳以上の方への補助が導入された。飯山市でも助成すべきと考える。

答 市内の接種状況や県内他自治体の状況を注視していく。

市政運営と検証について



山崎一郎議員

問 年間1億円余の予算をかけている公共交通事業は長く続けている事業だが、時代の変化を検討・見直しすれば改善すべき点があるのではないかと。特に予約型乗り合いタクシー事業は年間3500万円以上の運行経費をかけているが、利用者が年々減少し、その運行収入は年間180万円余の現実である。今後に向けた対応を聞きたい。

答 乗り合いタクシー事業については指摘のとおり大きな課題であるため、この解決に向けて、令和7年度において新しい運行方法の実証試験を実施する予定である。

問 富倉と岡山地区を出張所扱いとし、その分掌事務に定める印鑑証明書等の扱いのため係長職を配置しているが、その取り扱いはずかな状況で時代にマッチした地域性を検討すれば、他の活性化センターと同じ扱いに改善が可能と思われるがどうか。

答 指摘のとおりであり現在庁内で検討しているが、長年地域に愛されてきた組織・施設であるため慎重に検討したい。

一般質問

一般質問

人口減少対策 産業の活性化 廃校の利用



高橋春三議員

問 市報や施政方針で経済の強化にかける市長の強い意思を感じた。人口増の効果が大きい産業の活性化をどのように考えるか。

答 人口減少対策を最重要課題と位置づけ、経済を動かして暮らしを守っていききたい。各産業の課題と向き合い、公有財産の活用を進める。

問 不要な建物の建設や維持は箱物行政と言われる。閉校となる学校を公共施設として活用することは否定しないが、産業の活性化の見地から、稼働施設に転換することについての見解を伺う。

答 公共施設の維持や更新費用の確保は市の大きな課題。利用団体や民間事業者等への売却や賃貸等が考えられる。除却も含めて維持管理費を軽減することを検討している。民間企業で利活用することにより新たな雇用を生み出す可能性もあり、教育による人材育成の場として利用することも、広義として稼働施設になるのではないかと思う。

施政方針と令和7年度予算について



小林喜美治議員

◆政治姿勢と施政方針について 国会において新年度予算が審議されている。物価高騰が続き、市民生活が苦境に追い込まれている。市民生活を優先した政治が求められている。市民生活に直接責任を負う市長は今日の事態をどう認識しているのか、3月議会に示された施政方針の基本的内容について。

答 物価高騰などが市民生活に重くのしかかっていることは十分認識している。低所得世帯への支援等は1月に専決処分した。新年度予算でも福祉事業者支援など、国・県の支援策を考慮したうえで予算計上を行った。

◆新年度予算について 予算編成にあたり市民の意見募集を行った。寄せられた意見の件数等は。提案された意見の特徴と、新年度予算にどのように反映されたのか。

答 寄せられた意見は23人の方から82項目、うち新年度予算に反映したものは11項目。例としては高齢者の免許返納対策や、乗り合いタクシー、バス回数券等を給付する交通弱者対策等を新規事業として計上した。

駅前ホテルについて



山崎武雄議員

問 原告飯山ホテル側は「事業促進へ協力する義務」と「約8200万円の損害賠償」を主張しているが、市長はこれに対して全面的に争う姿勢を示している。その根拠とは。

答 先方の請求の趣旨は、損害賠償約8199万円と年利3%そして訴訟費用について支払えというものである。そのような損害賠償の請求に納得がいかないため、裁判所に對し先方の請求を棄却するよう求めたところである。

問 他市と比べて、飯山ではどんな規制がホテルの高さを制限しているのか。

答 飯山市景観条例により景観法の規定に基づく景観計画を策定しており、その中で建築物の高さに関する基準を定めている。

問 駅周辺の発展には第二第三のホテル等の進出ができるよう景観審議会を開催し、高さ制限を見直してはどうか。

答 現時点では高さの基準も含め点検や見直しの予定はないが、目的達成のため必要が生じた場合には景観審議会を開催する。

飯山城址公園整備・市民の安心 安全について



岸田真紀議員

問 城山公園整備基本計画の中期整備期間は令和8年度までであるが、これまでの整備状況は。

答 芝生広場や歩行者用主要動線の整備、石垣の補修、西曲輪や帯曲輪の整備、案内処の整備などを進めてきており、現在は城山南側の入り口となる大手門周辺整備と飯山城址公園まで誘導する案内標識の整備を予定している。

問 飯山市ではどのくらいの防犯カメラを設置しているか。

答 市で管理する施設等に設置している防犯カメラとして、市役所、公民館、学校やその他施設に27か所58台、道路や公園、駅等の不特定多数が利用する場所に56か所83台が設置されている。

問 近隣では既に防犯カメラの設置に補助金を出している自治体がある。また予算を組んでいる自治体もあると聞いたが、当市の取り組みはどうか。

答 当市を含む長野以北9自治体で、補助金の交付を行っているのは野沢温泉村のみ。引き続き近隣の市町村の状況を見守ってまいりたい。

本会議を傍聴する皆さまへお願い

本会議を傍聴する場合は、傍聴規則を守っていただき、拍手その他の方法によるご協力ください。なお本会議の様子は「iネット飯山」でも放送しております。

令和7年6月定例会 会期日程(予定)

◆ 招集・議案上程 6月9日(月)

◆ 一般質問 6月17日(火)

◆ 各常任委員会審査 6月20日(金)

◆ 委員長報告・採決 6月27日(金)